

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、下記項目につきまして検査委託先より検査内容変更の連絡がありましたので、取り急ぎご案内する次第です。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

■対象項目

- 別掲の一覧表をご参照ください。

■変更期日

- 2024年3月30日(土)受付日分より

■検査内容変更一覧

頁	項目コード	検査項目名	変更内容	新	旧	備考
83	2564	I型コラーゲン架橋 N-テロペプチド (NTx) [骨粗鬆症]	検査項目名	I型コラーゲン架橋 N-テロペプチド (NTX) [骨粗鬆症]	I型コラーゲン架橋 N-テロペプチド (NTx) [骨粗鬆症]	略称の変更 (日本骨粗鬆症学会「骨粗鬆症診療における骨代謝マーカーの適正使用ガイド」に準拠)
86	2190	コルチゾール (尿)	保存安定性	冷蔵 14 日	(なし)	保存可能時間の明記
95	2478	CA602	所要日数	4~11 日	4~8 日	
	2492	HE4(ヒト精巣上体蛋白 4)	備考	日本人卵巣癌患者における病態の経過観察としてのカットオフ値:70.0 pmol/L 以下 (閉経前、閉経後)	(なし)	カットオフ値の追加
	2431	シアルル Tn 抗原 (STN)	所要日数	4~10 日	3~6 日	
	2474	CA54/61	所要日数	4~11 日	4~8 日	
	2445	デオキシピリジノリン (Dpyr)	検査項目名	デオキシピリジノリン (DPD)	デオキシピリジノリン (Dpyr)	
			検査方法	CLEIA	EIA	
			報告様式	DPD 濃度 (nmol/L) クレアチニン値 (mg/dL) クレアチニン補正值 (nmol/mmol・Cr)	クレアチニン補正值	
			報告下限	DPD 濃度: 7.0 nmol/L 未滿	-	
			所要日数	3~6 日	4~7 日	
			保存安定性	7 日	6 週	(4 頁参照)
2560	I型コラーゲン架橋 N-テロペプチド (NTx)	検査項目名	I型コラーゲン架橋 N-テロペプチド (NTX)	I型コラーゲン架橋 N-テロペプチド (NTx)	略称の変更 (日本骨粗鬆症学会「骨粗鬆症診療における骨代謝マーカーの適正使用ガイド」に準拠)	
109	3107	HCV サブタイプ系統解析	所要日数	6~12 日	6~9 日	
	3871	HCV 薬剤耐性変異解析 (NS5A)		(なし)	9~13 日	測定は月 1 回 (不定期) です。
111	2930	パルボウイルス B19-DNA 同定	検査項目名	パルボウイルス B19 核酸同定	パルボウイルス B19-DNA 同定	
			検査方法	リアルタイム PCR 法	PCR 法	
			所要日数	3~10 日	6~9 日	(5 頁参照)
118	3363	ウイルス分離	所要日数	(なし)	14~56 日	測定は月 1 回 (不定期) です。
	3364	ウイルス同定	所要日数			
123	3393	梅毒定性 《FTA-ABS》	所要日数	3~6 日	3~5 日	

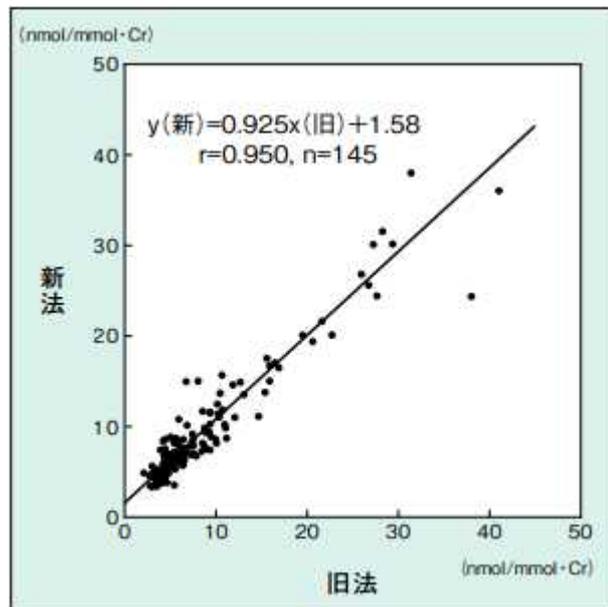
頁	項目コード	検査項目名	変更内容	新	旧	備考
128 212	3605	ニューモシスチス・カリニ (<i>Pneumocystis jirovecii</i>)-DNA 同定	検査項目名	ニューモシスチス・イ ロベチイ(カリニ)核酸 同定	ニューモシスチス・カ リニ(<i>Pneumocystis</i> <i>jirovecii</i>)-DNA 同定	(5頁参照)
			検査方法	リアルタイム PCR 法	PCR 法	
			所要日数	5~9日	6~9日	
130	3504	プロコラーゲン Ⅲペプチド(P-Ⅲ -P)	所要日数	4~8日	4~7日	
132	3899	TARC	備考	トロンビン入りの採血 管は測定値に影響を 与える可能性がある ため使用しないでくだ さい。	(なし)	(新設)
132	1947	肺サーファクタン トプロテイン D (SP-D)	検査方法	LA(ラテックス凝集比 濁法)	CLEIA	(6頁参照)
157	9078	T-SPOT.TB (インターフェロ ン- γ 遊離試験)	保存安定性	54時間	(なし)	
			備考	採血後、規定時間内 (54時間以内)に再委 託先へ搬送して検査 を実施する必要があります ので、採取前 に必ずご連絡くださ い。必ず指定容器を 用いて、規定量 (9mL)をご提出くださ い。検査に十分な細 胞(末梢血単核球)数 が得られない場合 は、検査不能となる 場合があります。	採血後、規定時間内 (54時間以内)に再委 託先へ搬送して検査 を実施する必要があります ので、採取前 に必ずご連絡くださ い。※1	
205	1248	ADAMTS13 活性	備考	必ず ADAMTS13 検査 の専用検体としてご 提出ください(同一検 体で凍結融解が不可 とされる凝固検査項 目との重複依頼は避 けてください)。	(なし)	提出条件の 見直し
	4984	ADAMTS13 インヒビター定量	備考			
206	4127	ループスアンチコ アグラント《希釈 ラッセル蛇毒試 験法》	備考	血小板の混入は、測 定結果に影響します のでご注意ください。 抗凝固薬は、測定結 果に影響を与える可 能性があります。	(なし)	
	6857	ループスアンチコ アグラント《リン脂 質中和法》	備考			
203	出血凝固検査 ※血液凝固検査容器(容 器番号 15)を用いた項目		備考	遠心分離条件の変更		(6頁参照)
204						
205						
206						
207						

※その他の検査要項に変更はございません。

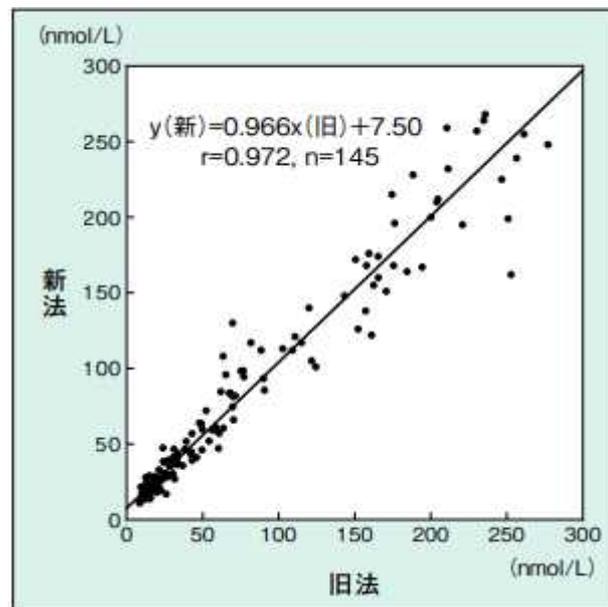
デオキシピリジノリン

測定試薬を EIA 試薬から CLEIA 試薬に変更します。結果値はデオキシピリジノリン濃度のクレアチニン補正值の他に、新たにデオキシピリジノリン濃度とクレアチニン値も併せてご報告いたします。新旧二法の相関は良好であり、基準値の変更はなく、所要日数を短縮いたします。なお、デオキシピリジノリン濃度が検出下限(7.0nmol/L 未満)の場合は、7.0nmol/L を用いてクレアチニン補正を行い、クレアチニン補正值は「未満」を付記してのご報告となります。また、項目名の略称を日本骨粗鬆症学会「骨粗鬆症診療における骨代謝マーカーの適正使用ガイド」に準拠し、変更いたします。

■新旧二法の相関 [クレアチニン補正值]



[デオキシピリジノリン濃度]



(LSI メディエンス検討データ)

パルボウイルス-B19、ニューモシスチス・カリニ

測定方法をPCR法からリアルタイムPCR法に変更いたします。測定方法の変更に伴い、所要日数を短縮いたします。併せて、これまで項目名称をニューモシスチス・カリニ-DNA 同定は現在の学名である *Pneumocystis jirovecii* を併記しておりましたが日本医真菌学会医真菌用語集(2022版)に準じて ニューモシスチス・イロベチイに変更いたします。

■新旧二法の相関

●パルボウイルス B19 核酸同定

		旧法		計
		陽性	検出せず	
新法	陽性	2	0	2
	検出せず	1	8	9
計		3	8	11

陽性一致率：66.7% (2/3)
陰性一致率：100.0% (8/8)
判定一致率：90.9% (10/11)

●ニューモシスチス・イロベチイ(カリニ)核酸同定

		旧法		計
		陽性	検出せず	
新法	陽性	3	0	3
	検出せず	0	8	8
計		3	8	11

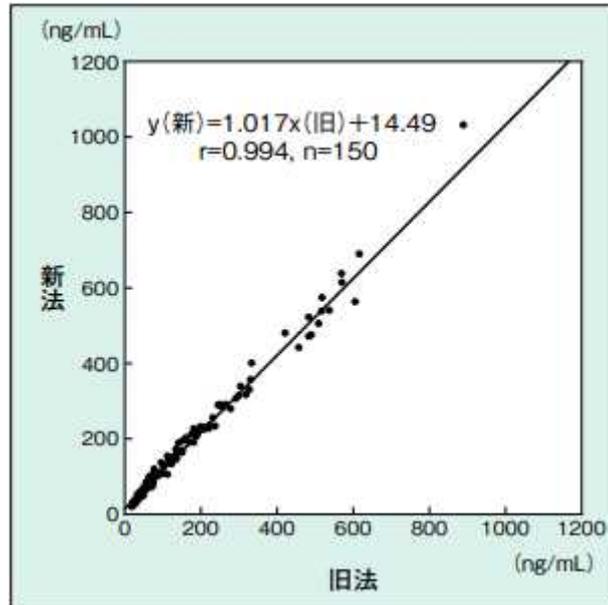
陽性一致率：100.0% (3/3)
陰性一致率：100.0% (8/8)
判定一致率：100.0% (11/11)

(LSI メディエンス検討データ)

肺サーファクタントプロテイン D (SP-D)

測定試薬を CLEIA 試薬から LA (ラテックス凝集比濁法) 試薬に変更いたします。新旧二法の相関は良好で、基準値等の変更はございません。

■新旧二法の相関



(LSI メディエンス検討データ)

出血凝固検査の遠心分離条件変更

出血凝固検査の遠心分離条件を CLSI/NCCLS ドキュメント H21-A5 から「日本検査血液学会標準化委員会凝固検査用サンプル取扱い標準化ワーキンググループ」の提唱する方法に準拠し変更いたします。

■変更内容

	新	旧
遠心分離条件	3.2%クエン酸ナトリウム液 0.3mL 入り容器に血液 2.7mL を正確に入れ、全量 3.0mL にしてよく混和後、遠心機の温度設定を 18°C～25°C とし、遠心力と遠心時間は 1,500 × g で 15 分以上または 2,000 × g で 10 分以上遠心分離し、血漿を凍結してご提出ください。	3.2%クエン酸ナトリウム液 0.3mL 入り容器に血液 2.7mL を正確に入れ、全量 3.0mL にしてよく混和後、1,500 × g、15 分間遠心分離し、血漿を凍結してご提出ください。

■参考文献

家子正裕, 他 : 日本血液学会誌 17(2): 149-157, 2016.